



目の前で人が倒れた時にすぐに対応できるようにしたい

救急看護認定看護師 酒井 麻希子

もしも意識を失って倒れている人に出会ったら、なんとか助けたい、この人のために何かしてあげたいとみなさん思われるでしょう。しかし、その人に何をすればよいかわからず、おろおろとしてしまいませんか。そのような時はすぐに救急車を呼んでください。でも救急車はすぐには到着しないことがあります。そんな時にそばにいる人ができること、それが救急蘇生法(一次救命処置)です。消防署などで講習会が開かれています。受けたことがありますか？

病院の中でも入院している患者さんが急変したり、外来受診されている患者さんが

急に倒れたりすることがあります。そうした場合に、その場に居合わせた病院の職員が適切に一次救命処置をできるよう講習会を開いています。はじめて胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸をしたりAEDを使ったりすることは職員でも不安が大きくなり緊張してしましますが、人形を使って何度も練習すると1時間後には上手にできるようになります。

いつどこで緊急の場面に出会うかわかりませんので、このような救急蘇生法を学ぶ機会がありましたら、みなさまもぜひ参加してみてください。

手術についての心配事、ご相談下さい。

手術看護認定看護師 米村 雅美

手術は一生のうちで何度も経験するものではありません。また、手術の大小を問わず体にメスを入れるという行為は、生命を脅かすものと言えます。手術が決定してからその日が近づくとつれて、心配事がどんどん増えていくようなことがあるかもしれません。「手術室ってどんな所だろう」「どういう風に手術が進んでいくの?」「何を準備しておけばよいのか」「どんな麻酔で手術を行うのか」「麻酔が痛いって聞いたけど…」「手術後はどれくらい痛いのかな」「痛みの対処法はどうしたらよいのか」「手

術の後はどれくらいで動けるのか」「手術後、家に帰ってから何か起こった時には?」などなど。少しでもそのような心配事を解決してもらうために、手術看護認定看護師がいます。普段は手術室で勤務しており、患者さんのすぐそばで少しでも安心して手術が受けられるように、看護にあたっていますが、手術に関わる全ての事に携わっています。手術について何か不明な点、心配事がありましたら、いつでもご相談下さい。病棟・外来を問わず訪問させていただきます。

★「フィリア・レター」は、中部ろうさい病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。